

要求開発事例研究会・アジャイルコミュニティ 合同会合

平成 28 年 6 月 24 日、要求開発事例研究会(幹事：斎藤忍 NTT)・アジャイルコミュニティ(幹事：角野幸子 NEC ソリューションイノベータ(株))合同会合が JISA 会議室で開催された。出席者は 23 名。

本会合でアジャイルをテーマに講演することから合同会議が実現した。

会合では杉浦由季氏(NTT データ)より「中国オフショア体制における Scrum 実践手法の提案と検証」についてプレゼンがあり意見交換を行った。

アジャイルで最も使われている手法 Scrum により顧客の課題「プロジェクトの遅延」「プロジェクト後半に仕様変更が多発」「機能に妥協したリリース」に対応が出来たこと、今後の課題として、「仕様変更への対応速度の改善」「オフショアとのスコープ合意の高速化」「Scrum チームの維持」が紹介された。

なお本事例は、「情報処理学会デジタルプラクティス Vol.7 No.3」(2016 年 7 月発刊)に掲載予定である。

参加委員からは、「アジャイルについての悩みを共有出来た」「今後も連携した他委員会・コミュニティとの合同会合を実施して、見識を深めたい」等、今後の活動に活きる意見が多かった。



(溝尾)